

肺がん結核検診を受診される方へ (事前説明書)



肺がんは、わが国のがんによる死亡原因の上位に位置しており、40歳代から増加します。また、肺結核は、「昔の病気」ではなく、いまだに年間1万人以上の新たな結核患者が見つかっています。

肺がん結核検診では、肺がんや肺結核などの肺の病気や心臓の病気を早期に発見し、医療につなげるために実施しています。検診の結果が「要精密検査」となった場合は、必ず精密検査実施医療機関を受診してください。

◆検診方法：胸部エックス線（レントゲン）検査

※放射線による影響は大丈夫？

普通に生活をしていても、宇宙線や地中から自然の放射線を浴びています。

胸部エックス線検査による被曝は、これら自然の放射線による年間の被曝の1/48程度ですから、これで放射線障害や発がんについて心配する必要はありません。

◆検診手数料：800円

※大津市国民健康保険加入者、市民税非課税世帯に属する方、65歳以上の方、生活保護世帯等に属する方等は検診手数料が無料です。

※市民税非課税世帯に属する方及び生活保護世帯に属する方等は、検診票の「検診手数料減免確認承諾欄」に署名してください。

◆検査結果について

- ・検診結果は、検診を受けた医療機関から説明を受けましょう。
- ・胸部エックス線写真の読影を2名の医師で実施します。そのため、結果がでるまでに、約1か月程度かかります。
- ・今回の検診で、がんが100%見つかるわけではありません。また、がんがなくても「要精密検査」となることがあります。
- ・検診の結果「要精密検査」となった場合、必ず、精密検査実施医療機関を受診してください。

※結果説明時に精密検査実施医療機関を紹介し予約をとります。精密検査は、保険診療となります。

- ・なんらかの自覚症状がありましたら、結果に関わらず医療機関を受診してください。
- ・検診の結果が「異常なし」でも、1年度に1回検診を受けましょう。

◆精密検査について

主な精密検査方法は、CT検査や気管支鏡検査です。

CT検査・・・体の周囲からエックス線をあてて、体の断面を画像にし、
がんの有無や広がりなどを確認するものです。

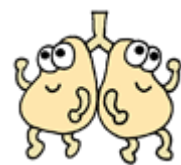
気管支鏡検査・・・直径6mm程度の気管支鏡を鼻、あるいは口から挿入し、
気管支の中を観察するものです。鼻、あるいは口に局所麻酔を噴霧した後、
気管支鏡をゆっくりと挿入し、時々、局所麻酔液を散布しながら観察します。



(精密検査結果は市町村へ報告され、検診機関と共有します。)

◆肺がん予防には禁煙が重要です！！

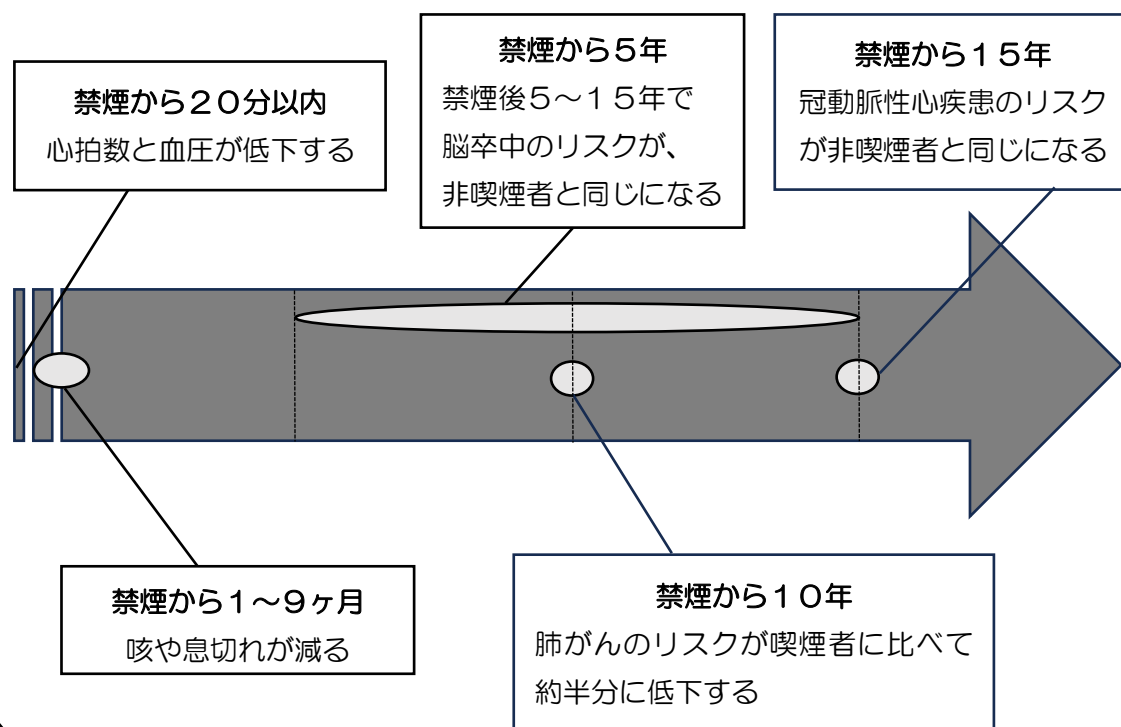
禁煙は肺がん予防の第一歩



検診フレンズ
ハイハイブラザーズ

禁煙後は、年数が増えるにつれて肺がんリスクや肺がん死亡率が減ります。
禁煙し様々な病気にかかる危険が非喫煙者のレベルまで近づくことが分かっています。

喫煙者にもたらされる禁煙の効果



参考・引用文献

・国立研究開発法人国立研究センター
がん情報サービス HOME：「肺がん検診について」「禁煙による健康への効果」